

# 『ひきこもり』支援のつながり

## 話すことから始めてみませんか？

ささいなことがきっかけで誰にでも起こり得る「ひきこもり」。過去にひきこもりを経験し、その経験を活かして同じ境遇の仲間をサポートする「メンタルサポーター」をご存じですか？

メンタルサポーターとして活躍されている方と専門相談・居場所利用者の方にお話を伺いました。

### 少しでも気持ちが軽くなってくれることを願って



メンタルサポーター  
(心理学学士)

にしがわ まさあき  
西川 雅章さん

医師になろうと大学へ入学しましたが、学校へ行けなくなり、その時に宮西先生に出会ったことで心理学部へ行き直し、休みながらもなんとか卒業することができました。

極度の人見知りで緊張しやすい性格の私が「ヴィダ・リブレ」で安心して人とのつながりをもつことができました。

メンタルサポーターとして活動してからは、自分も笑顔で利用者と関わるように心がけていて、少しでも和んでくれたら嬉しいです。

しんどい思いをされている方に、家以外の安全基地、居場所やコミュニティーがあると知ってもらい、希望を持ってほしいです！

～このような相談があります～

#### 【家族】

- ・友人とは会うが、昼夜逆転して学校へ行きたくない
- ・就職できたがすぐやめてしまい、家でゲームばかりしている

#### 【本人】

- ・何が原因で学校や仕事に行きにくくなったのか分からない
- ・休んでいる期間が長くなり、どうすればいいのかわからない
- ・ゲームやリモートワークで仕事したいが、親がわかってくれない

### ヴィダ・リブレアリア

#### 【精神科医による専門相談】

不登校や様々な理由で「ひきこもり状態」にある本人・家族のために、抱え込まず相談してみませんか？

**場所** 保健センター

**相談日** 毎月 第3金曜日

奇数月 第4火曜日（中高年対象）

**時間** 13時15分～17時（要予約）

**相談員** ヴィダ・リブレ代表 宮西照夫（精神科医）

**相談料** 無料

#### 【居場所支援】

さまざまな活動や体験を通じ、同じ経験を持つ仲間と交流できます。精神科医、心理学学士、ひきこもり経験がある支援員による相談や居場所支援から徐々に動き出すきっかけづくりをしています。

**場所** 文化福祉センター3階

**開設日** 毎週火・金曜日 13時～17時

**利用料** 無料

**申・問** 保健センター Tel. 82-3223



☆こんなことをしています☆

- ・ボードゲーム
- ・将棋
- ・簡単なクッキング
- ・学習支援



### 利用者からの声

中学はほぼ学校に行けず、高校は楽しく過ごせましたが進路に迷い、卒業後は予備校へ通いました。先生の勧めで県外の大学へ進学しましたが、色々なことが重なって学校へ行けなくなり、外出することも難しくなりました。

母から話を聞き、宮西先生が訪問に来てくれて、気軽な会話（専門相談）から少しずつコミュニケーションがとれるようになり、居場所へ通い始めました。「しゃべってもしゃべらなくてもいい」、「顔見知りが増え安心できる」そんな場所が『ヴィダ・リブレ』です。

昼夜逆転する日もありますが、最近は数時間のバイトに行き始め、外出する機会も少し増えてきました。

**【利用者：20代男性】**

### 令和5年度各会計の決算

(単位：万円)

会計区分	歳入	歳出	差引
一般会計	2,285,927	2,220,002	65,925

特別会計	国民健康保険	391,441	382,889	8,552
	初島財産区	504	374	130
	漁業集落排水事業	6,632	6,007	625
	介護保険	360,092	344,870	15,222
	後期高齢者医療	88,182	86,921	1,261
	合計	846,851	821,061	25,790

企業会計	上水道事業	収益的	52,461	45,707	6,754
		資本的	12,954	33,721	△20,767
	病院事業	収益的	53,576	59,573	△5,997
		資本的	31,638	30,121	1,517

### 健全化判断比率等の公表

(単位：%)

区分	実質赤字比率 (一般会計の赤字割合)	連結実質赤字比率 (すべての会計を合算した赤字割合)	実質公債費比率 (一般会計における借金の実質負担割合)	将来負担比率 (一般会計において将来負担すべき借金の割合)
健全化判断比率	—	—	7.9 (+0.7)	—
*早期健全化基準	13.87	18.87	25.0	350.0
*財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

#### 【公営企業】

区分	漁業集落排水事業	上水道事業	病院事業
資金不足比率	—	—	11.5 (△0.8)
*経営健全化基準	20.0	20.0	20.0

注) 赤字や資金不足がない場合「—」と表示。

( )内は令和4年度数値との増減。

※早期健全化基準や経営健全化基準を超えると、健全化計画の策定が義務づけられ、財政再生基準を超えると、財政再生団体として国の関与を受けて財政の再建に取り組むこととなります。

### 決算額を家計に置き換えると・・・

(市民1人あたりの決算額) 25,577人 (R6.3月末現在)

歳入		家計では	令和5年度1人あたり(円)
自主財源	市税、分担金及び負担金、使用料、手数料、寄付金、諸収入	給料・ボーナス等	326,708
	財産収入	財産売却や賃貸収入	488
	繰越金	前年からの繰越	14,330
	繰入金	貯金の取り崩し	173,652
依存財源	地方交付税、国・県支出金、地方譲与税、各種交付金	親からの援助等	324,171
	市債	借入金	54,165
歳入の合計(前年度)		収入の合計(前年度)	893,514 (1,011,859)

歳出		家計では	令和5年度1人あたり(円)
義務的経費	人件費	食費等	110,580
	扶助費	医療費・教育費等	103,419
	公債費	借金の返済	40,381
物件費		光熱水費や電話代、衣料・日用品代等	106,176
維持補修費		自宅の補修費等	4,020
補助費等		自治会ほか各種会費等	163,003
投資的経費		自宅の増改築費、家具購入費等	174,575
繰出金		子どもへの送り等	57,100
積立金		貯金	103,821
投資及び出資、貸付金		株式投資や事業への出資・貸付等	4,664
歳出の合計(前年度)		支出の合計(前年度)	867,739 (984,364)

借金と貯金		令和5年度決算額	令和5年度1人あたり
市債(借金)残高(前年度)	138.7億円 (134.6億円)		54.2万円 (51.7万円)
財政調整基金(貯金)残高(前年度)	21.5億円 (26.0億円)		8.4万円 (10.0万円)